



**平成31年度 地域発 元気づくり支援金【北信地域】
30事業が内定しました。**

「地域発元気づくり支援金交付要綱」に基づき、北信地域事業選定委員会による審査を経て下記のとおり内定しました。

- 当地域の要望状況は、32団体、36事業で、要望額の合計は、8,852万2千円でした。
- 内示額の合計5,977万4千円は、当地域への配分額(予算額)5,993万5千円を下回りましたが、少額のため2次募集は行いません。

1 事業区分別の選定状況

(単位:千円)

事業区分	選 定 状 況		
	件数	支援額	事業例
1 地域協働の推進	5	12,320	協働のむらづくり事業
2 保健、医療、福祉の充実	1	1,470	子どもの貧困対策・信州子どもカフェの推進
3 教育、文化の振興	2	1,483	若者が地域に自分の出番を創る製革学習
4 安全・安心な地域づくり	1	6,000	雪国でも安心して生活できる克雪集落づくり事業
5 環境保全・景観形成	2	1,914	雪室スノーパル活用事業
6 産業振興、雇用拡大 (小計)	15	31,673	
(1) 特色ある観光地づくり	9	16,487	信越自然郷ガストロノミー・ツーリズム推進、ビアフェス
(2) 農業の振興と農山村づくり	3	3,858	飯山産そば生産振興
(3) 森林づくりと林業の振興	0	0	
(4) 商業の振興	0	0	
(5) その他	3	11,328	信州中野おごっそフェア
7 市町村合併に伴う地域の連携の推進に関する事業	0	0	
8 その他地域の元気を生み出す地域づくり	4	4,914	栄村農業体験及び農産物宣伝販売促進事業
合 計	30	59,774	

【再掲】県全域及び地域で重点的に推進するテーマに関する事業分

(単位:千円)

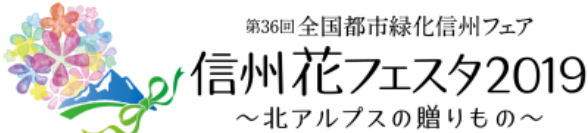
重点テーマ区分	件数	支援額	事業例
信州子どもカフェの推進	1	1,470	子どもの貧困対策・信州子どもカフェの推進(再掲)
信州ACEプロジェクトの推進	0	0	
地域内経済循環の拡大	0	0	
県内高等教育機関の知の活用	0	0	
子育ての支援や地域の歴史・文化・産業等の学びの推進	2	1,493	地域課題解決のための人材育成を目指す学び企画
若者定着のための就業支援・産業創出	2	6,808	障がい者就労A型事業(農福連携)
一人多役等ライフスタイルの発信と移住・交流・まち(むら)づくり	0	0	
雪対策と利雪の推進	3	7,572	雪室商品ブランド化・雪室利活用推進
医療・公共交通等の生活基盤の整備	0	0	
通年型の広域観光の推進	7	14,085	ONSEN・ガストロノミーウォーキング事業
農産物の生産・販売強化と魅力の発信	7	12,499	木島平米「WRA GOLD 10」PR・ブランド化
合 計	22	43,927	

2 申請者区分別の選定状況

(単位:千円)

申請者区分	件数	支援額	
市町村	8	15,204	
広域連合等	0	0	
公共的団体(地域づくり団体・NPO等)	22	44,570	
合 計	30	59,774	

＼国内最大級の花と緑のイベント 信州初開催／



2019年4月25日(木) - 6月16日(日)

メイン会場 長野県松本平広域公園

サブ会場 国営アルプスあづみの公園(堀金・穂高地区/大町・松川地区)

長野県烏川渓谷緑地

北信地域振興局 企画振興課
(課長) 若林 正展 (担当) 富井 正代
電 話 0269-23-0201 (直通)
F A X 0269-23-0256
E-mail hokuchi-kikaku@pref.nagano.lg.jp

平成31年度「地域発 元気づくり支援金」【北信地域】選定事業一覧表

整理番号	事業区分	事業名	事業主体	事業内容 (単位:千円)	総事業費 (千円)		支援金内定額 (千円)	重点テーマ区分
				(主な用途、①:ソフト事業、②:ハード事業)	うち支援金要望額			
				【継続の場合、過去の支援金額】				
1	その他(産業の振興及び雇用の拡大)	農福連携による就労継続支援A型事業	株式会社アルビスファーム信州なかの	中野市において、障がい者就労継続支援A型事業所が農福連携事業を行い、地域の農業従事者と連携することにより、遊休農地を活用し、必要の高い農産物を栽培、販売する。 また、農産物を運搬するためのトラックを購入し、農業用ハウスを整備する。 ①農業サポーター委託(3,481)、教育研修費(1,144)②運搬用中型トラック(3,300)、農業用ハウス(3,137)	22,303	8,528	6,000	若者就業支援、産業創出
2	保健、医療、福祉の充実	子どもの居場所作り事業	信州Gプロジェクト	子どもの居場所・出番を提供し、子どもが楽しめるフェスを開催する。フェスでは信州プロレス等の企画のほか、子どもカフェを実施している団体等と連携してフードドライブを実施し、協力者を増やし必要性を発信していく。また、現在子どもカフェや交流スペースとして「だしがやG」の施設環境を整えるため、エアコンの設置等を行う。 ①信州プロレス出演料(324)、チラシ等広告宣伝費(321)、水鉄砲等開催費用(310)、②エアコンの設置及び照明器具の更新(972)	1,928	1,470	1,470	子どもカフェ
3	農業の振興と農山村づくり	信州中野きのこ生産の歴史と未来	一般社団法人日本きのこマイスター協会	中野市の基幹産業であるきのこ産業の生産価格低迷や季節による需要と供給のアンバランスなど現状の課題について、解決の糸口を見出すため、きのこ生産や加工品開発を過去の歴史から学ぶ企画展を開催する。また、子どもを対象にきのこの魅力を学ぶワークショップを開催し、きのこ産業の振興を図る。 ①企画展パネル、看板印刷、展示用加工品など開催費用(674)、配布資料印刷(345)、ワークショップ講師謝金(686)、器具レンタル、広告料等(258)	1,966	1,538	1,538	農産物生産・販売強化
4	教育、文化の振興	音楽によるふるさとづくり (「ふるさとの四季」を故郷のばら公園でみんなで歌おう)	信州なかのローズフェスタ合唱団	毎年6月に行われている信州なかのバラまつりでのローズコンサートにおいて、中野市出身の中山晋平や高野辰之が作詞・作曲した曲が多く盛り込まれる組曲「ふるさとの四季」を、参加者を募って合唱し、地域の歴史や文化を学ぶ機会とする。また、「故郷」のふるさととして観光PRしている中野市で「ふるさとの四季」に参加者を募って行うことで、観光地としてのイメージアップを図り観光PRにつなげる。 ①講師謝金(650)、エレクトーン借上げ(85)、チラシ印刷(99)	845	675	675	子育て支援、学びの推進
5	その他地域の元気を生み出す地域づくり	うまいもん和地酒 信州 SOUL2019 ファミリーよ集え!!	Sakefeti(サケフェチ)	中野市及び近隣市町村の飲食店、酒販店等の若手経営者が協力して、北信地域のおいしい食文化やお酒の魅力を、それぞれの業種の特徴を生かしながら発信するイベントを実施してきた。実施する中で課題であった子ども連れの親子でも参加しやすいイベントとするため、子ども向けイベントを事業内容に加え開催し、さらに地域の魅力を発信していく。 ①会場設営費等(1,037)、広告費(705)、オリジナルおちょこ、Tシャツ(148)、試飲酒(405)	2,305	1,470	1,470	農産物生産・販売強化
6	その他(産業の振興及び雇用の拡大)	信州中野おごっそフェア	信州中野おごっそフェア実行委員会	中野市防災広場において、中野市を中心とした信越自然郷の農産物の魅力を発信するため出店者を募り販売する。H31年は、H30年の開催で効果のあったSNSでの情報発信を、さらに強化を行うとともに、PRキャラクターを公募して作成するなど、地域住民の関心も高める内容とし来場者の増加につなげる。また、ボランティアに広く携わってもらうことで、地域住民と協力して地域の活性化につなげるイベントとする。 ①会場設営(8,200)、広報(3,500)、交通警備・シャトルバス等(2,200)、イベント・企画等(5,000)	22,000	4,400	4,400	農産物生産・販売強化
7	地域協働の推進	手づくり農村支援事業	中野市(農政課)	農村地域における高齢化や後継者不足による農作業等の負担軽減と効率化を図るため、地域住民が協働して行う農道・水路の補修・整備の直接施工や維持管理活動に必要な材料支給・重機の提供等の支援を行う。 ②農道舗装6地区(4,577)、水路改修9地区(6,134)	10,711	5,355	5,355	
8	地域協働の推進	協働のむらづくり事業	飯山市	住民と市が協働して農林業用施設を整備することにより、事業費を圧縮、施設の維持管理作業を軽減し、農林業生産の効率を高める。また、協働作業を通じて住民同士の交流、施設管理意識の向上を図る。 支援金対象:農林道舗装等15箇所、水路改修16箇所②原材料購入費(6,920)	6,920	4,110	4,110	
9	その他地域の元気を生み出す地域づくり	雪エネルギー推進事業	飯山市	昨年度、実証実験を行い、雪室としてある程度の利用見込みがあった施設を使い、事業者主体の雪室ブランドを構築していくため、先進地である新潟県の事業者等を招いて講演を実施する。また、雪室貯蔵品のエビデンス調査、首都圏でのPR、PRのためのロゴマークを作成する。その他、雪室内の物品管理の備品購入、温度や湿度状況を保つための施設修繕を行う。 ①講演会講師謝金、交通費(180)、エビデンス調査(40)、商談会参加費(90)、PR用ロゴマーク作成(172)、商品管理用備品購入(282)②雪室の修繕(228)	994	783	783	雪対策と利雪
10	特色ある観光地づくり	信越自然郷におけるガストロノミー・ツーリズム推進事業	一般社団法人信州いいやま観光局	信越9市町村広域観光連携会議では、H30年度に立ち上げたワーキンググループでの検討や実施結果を踏まえ、より効果が高まる方法で地域の食文化や特徴のある食材を活かした「ガストロノミー・ツーリズム」の基盤を構築・推進し、競争力を持った地域を確立していくための事業を行う。 ①料理教室の開催(講師謝礼・チラシ等)(690)、食材収穫体験ツアー(インストラクター謝金、バス借上げ)(130)、おごっつおガーデン(調理人謝金・チラシ、什器購入等)(649)、講演会(722)、食材フェアメニュー開発等(463)、フェイスブック広告費(300)、先遣地視察(60)	3,017	2,413	2,413	通年型広域観光
11	特色ある観光地づくり	千曲川・高社山SEA TO SUMMIT事業	千曲川・高社山SEA TO SUMMIT実行委員会	カヌー・自転車・登山の3種類のアクティビティをつないで旅を楽しむ「SEA TO SUMMIT」をH29年に初めて開催し、全国12箇所の中からSEA TO SUMMITアワード2017を受賞。H30年からは木島平村も主催者に加わり、旅行商品としての販売やボランティアの参画も増加し認知度が上がった。H31年は、地域住民向けアクティビティ講習会を実施し、グリーン期の旅プランとしての受け入れのための体制づくりを進める。 ①運営費(4,800)、設備費(1,500)、広報費(1,500)、式典等(200)、人材育成費(380)、その他運営費(440)	8,820	1,873	1,873	通年型広域観光

整理番号	事業区分	事業名	事業主体	事業内容 (単位:千円)	総事業費 (千円)		支援金内定額 (千円)	重点テーマ区分
				(主な用途、①:ソフト事業、②:ハード事業)	うち支援金要望額			
				【継続の場合、過去の支援金額】				
12	特色ある観光地づくり	信越自然郷”ふるさと”プロジェクト	信越9市町村広域連携会議	8年目を迎えた信越9市町村による広域観光連携「信越自然郷」の取組み。インバウンドの増加やグリーンシーズンの来訪者に対応するため、H30年に立ち上げたワーキンググループの検討結果を踏まえ、e-BIKEの導入、HP改修、デジタルサイネージの導入、人材育成事業を実施し、観光客のニーズに応えるほか、地域一体での情報発信等に取り組む。 ①e-BIKEのリース等(1,648)、HP改修(2,455)、人材育成事業謝金等(162)②デジタルサイネージの設置(1,400)	5,667	4,463	2,369	通年型広域観光
13	特色ある観光地づくり	信越トレイル延伸に伴う広域観光推進事業	NPO法人信越トレイルクラブ	信越トレイルは、全線開通から10周年を迎え、もつと長い距離を歩きたいという要望などから、苗場山まで全長を伸ばす(延伸)。その延伸で更新が必要となる案内物品等を作成する(2年計画で進める)。また、トレイルの維持管理を利用者とともにするため、協力を呼びかけるため、寄付をした者に対する返礼用のタグ及び周知用の看板を作成する。 ①ホームページ更新(1,922)、案内パンフレット、マップ、ガイドブックの版下作成(588)、整備協力金返礼タグ及び呼びかけ看板製作(309)	2,821	2,256	2,256	通年型広域観光
14	教育、文化の振興	若者が地域に自分の出番を創る製革学習	特定非営利活動法人ば一むぼいす	不登校やひきこもりなど社会生活に困難を有する地域の子ども・若者が、現状、処分されるだけの獣の皮を使い、後継者のいない製革技術を学ぶための講座を実施する。また、出来上がった革を使って製品を作り、販売のためのブランディングも学び、子ども・若者の居場所や出番を創出する。 ①講師、皮提供謝礼等(232)、事業スキーム組立相談料(204)、革製品デザイン等(183)、冷凍庫・洗濯機、作業用道具等(328)モニタリング(60)	1,011	808	808	若者就業支援、産業創出
15	安全・安心な地域づくり	雪国でも安心して生活できる克雪集落づくり事業	藤沢区	集落内の特に道幅が狭く、急勾配で機会除雪が困難な道路で、凍結により車の事故や転倒によるけが人が出ている路線について、自然流水を活用した路面消雪設備を施工する。施工は、専門の事業者でなければ施工できないものは事業者をお願いするが、その他は住民自らが施工する。 ②アスファルト舗装、散水管設備、水路接続工、運搬費等(9,290)	9,291	6,967	6,000	雪対策と利雪
16	農業の振興と農山村づくり	飯山のそばによる元気な地域づくり事業(第2弾)	飯山そば振興研究会	飯山市内の小規模なそば生産者団体が組織する当研究会が、H30年に支援金によりコンバインを導入し、適期刈取りと情報交換による栽培技術向上を図った。H31年は、自ら栽培したそばの付加価値向上に向け、製麺許可取得のための施設を設備し、雪害発生時のブランド化等に取り組む。また、そばの打ち手を育成するための講習会を開催し、いよいよそばの振興を図る。 ①打ち手育成講習会用物品(240)、情報発信、PR活動(178)、②冷蔵庫、真空包装器(651)、コンテナハウス設置(694)	1,766	1,344	1,344	農産物生産・販売強化
17	特色ある観光地づくり	大学・各種学校との志賀高原連携事業「学生による志賀高原観光振興プロジェクト」	志賀高原観光協会	近年の若者のスキー離れ等から、若者の志賀高原の認知度は低い傾向にある。そこで、H30年に支援金を活用して学生による志賀高原の遊休店舗を活用したカフェ等の店舗運営を提供しメニュー開発などを実施した。H31年は、新たにガストロノミーを学ぶ講習会、地域産食材によるメニュー開発PRを行う。 ①学生滞在・交通費3枚21人分(1,277)、講師謝礼等5人分(573)、引率者交通費等(113)、店舗裝飾1店舗分(399)、チラシ等広報費(280)、HP制作(432)、上記手配一式手数料(209)	3,423	1,702	1,702	通年型広域観光
18	環境保全、景観形成	雪室スノーパル利活用促進事業	山ノ内町雪室利活用協議会	山ノ内町須賀川地区に設置した雪室「スノーパル」の認知度を高め、利活用を推進するための事業を実施する。H31年は、より効果的な方法での雪室コンプレックスの実施と、町内の宿泊業関係者の協力を得て、実際に雪室貯蔵りんごを宿泊客に食べてもらうモニター調査を実施し、雪室商品の路拡大及び新たなスノーパル利用者の確保につなげる。 ①雪室コンプレックス開催費(916)、雪室貯蔵りんごのモニター調査(84)	1,000	789	789	雪対策と利雪
19	特色ある観光地づくり	ONSEN・ガストロノミーウォーキングinスノーモンキータウン事業	スノーモンキーONSEN・ガストロノミーツーリズム推進協議会	温泉地の魅力、郷土料理や地酒、地域住民とのふれあいなどをテーマとしたウォーキングイベントを実施し観光客の増加を図る。また、県内におけるONSENガストロノミーツーリズムの浸透を図るため、県との連携によるシンポジウムを開催する。 ①イベント告知等PR経費(810)、ウォーキングイベント運営費(2,140)、スタッフ経費(884)、イベント認定費用(300)、機構加入金(100)	4,400	1,640	1,640	通年型広域観光
20	環境保全、景観形成	上信越高原国立公園・志賀高原指定70周年記念事業	山ノ内町	昭和24年に志賀高原が上信越高原国立公園に指定されてから70周年を迎えることを記念して、当国立公園の国内外への認知度を高め観光の活性化や地域の活性化につなげ、町の観光PRと誘客を強化するため、モニユメント建立、遊歩道環境整備を行う。また、東京で開催される国立公園フェアに出展し、観光PRを行う。 ①PRイベント交通費(89)、チラシ作成、部品運搬(300)②モニユメント建設費(4,536)、遊歩道看板設置(1,666)	6,592	2,643	1,125	
21	地域協働の推進	地域協働で農業に活力を与えるための施設整備	山ノ内町	高齢化等により農業経営の先行きが不安定な中、地域住民が協働で農道等の整備を行うことにより地域のつながりを深め、農業に活力を与え、農村全体が元気になる。 ②農業用水路網銅板蓋の設置2地区 原材料費(1,836)、広報表示板(30)	1,867	933	933	
22	その他地域の元気を生み出す地域づくり	地域課題解決のための人材育成を目指す学び企画	特定非営利活動法人地域創生研究所あつまれむらびと	H30年に支援金を活用して完成した「むらびとサロン」で実施した講演会で、参加者から出た課題やアイデアについて、実際に資金調達やプロジェクト立ち上げの方法、特産品の開発などに取り組む専門家から学ぶ講演ワークショップを開催し、自主・自立的な企画の立ち上げにつなげ、地域課題に主体的に向かう人材の育成及び持続可能な地域の創出を図る。 ①タブロイド制作(324)講師謝金10人(388)、授業コーディネーター謝金(162)講師交通費(148)	1,023	818	818	子育て支援、学びの推進
23	農業の振興と農山村づくり	木島平米PR「WRA GOLD 10」推進事業	木島平村	木島平米は、「米・食味分析鑑定コンクール国際大会」でH30年度まで10年連続で全ての部門において金賞を受賞した。この長年の成績が評価され、H31年度と同コンクールで「国際総合部門」金賞を受賞すると、全国で2番目(県内初)となるWRA(World Rice Awards)GOLD10の称号が与えられる。この称号の取得を目指し、さらなる品質向上と活躍を全国に強力に発信しブランド化を目指す。 ①コンクール参加交通費(30)、PR用チラシ・ノベルティ等(630)、ラジオ出演経費(160)、PRイベント交通費(200)、商談会負担金等(180)	1,221	976	976	農産物生産・販売強化

整理番号	事業区分	事業名	事業主体	事業内容 (単位:千円)	総事業費 (千円)		支援金内定額 (千円)	重点テーマ区分
				(主な用途、①:ソフト事業、②:ハード事業)	うち支援金要望額			
				【継続の場合、過去の支援金額】				
24	特色ある観光地づくり	温泉ORP講習会及び各施設でのORP検査実施事業	野沢温泉源泉かけ流しの会	野沢温泉村は、自治体名に「温泉」が付く唯一の村であり、生活文化に温泉が欠かせないものとして根付いている。その「売り」である温泉の効能等について科学的な意味や知識を学び、自分たちの温泉の特徴やかけ流しの有意性を知り、野沢温泉を訪れるお客様に紹介できるようにして、温泉を活かした観光地づくり、地域発展を目指す。 ①講師謝礼(300)、講師交通・宿泊費(82)勉強会・実験サポート謝礼(100)、会場費(55)、ORP検査(1,020)、検査技師交通・宿泊費(74)	1,733	1,299	1,299	
25	特色ある観光地づくり	Nozawa Green Fes 2019	Nozawa Green Fes 実行委員会	野沢温泉村は、冬は多くの外国人観光客などで賑わいを見せるが、グリーンシーズンの集客は課題であるため、H30年に支援金を活用して、ビールと食と自然をテーマにしたGreen Fesを開催した。H31年は引き続き開催イベントとしての定着を図り、入場者数の倍増を見込む。野沢温泉のグリーンシーズンをPRし、宿泊につながるイベントとすることで、宿泊客の増加など地域経済への貢献を目指す。 ①イベント運営費(405)、オリジナルグラス(487)、スタッフTシャツ等(194)、海外フルワイヤー謝礼等(659)、会場使用料(150) Web、チラシ、広告宣伝費(322)、冷蔵庫等レンタル(192)	2,633	1,832	1,832	通年型広域観光
26	地域協働の推進	手づくり農道路盤整備等事業	野沢温泉村	農地・林地の荒廃を防ぐため、地元住民が互いに協力し必要な農道舗装等を行い、農作業の効率化と生産意欲の向上を図る。 ②原材料費支給 農林道2か所(283)、水路1か所(511)	795	529	529	
27	その他(産業の振興及び雇用の拡大)	極野里の幸プロジェクト	極野山菜生産販売組合	栄村東部の極野地区では、高齢化で人が山に入らなくなり荒れるようになったため、H29年に公民館内に惣菜の加工施設を新設し、地元野菜等を使った加工品づくりに取り組んでいる。H30年は支援金を活用し、山菜に詳しいプロの料理人を講師に招き料理教室を開催し加工品開発を行った。H31年は新たに先進地を視察し、加工品の販路拡大等に取り組む。 ①料理教室講師謝礼・チラシ等(230)、加工品開発用物品購入(109)、商品開発、ラベルデザイン等ブランディング、パンフ印刷等(465)、先進地視察経費(166)・山菜取りツアー等(223)	1,197	928	928	農産物生産・販売強化
28	特色ある観光地づくり	森宮野原駅周辺にぎやか創出事業	栄村秋山郷観光協会	栄村は、H23年の大震災以降、観光客の減少が続いており、村内の観光施設等では観光客の受入れ環境の整備が課題となっている。このため、森宮野原駅周辺の住民や団体と協働して、駅周辺の環境・観光施設整備等に取組み、訪れた方々に“また来たい”と思ってもらえるようにして誘客の増加につなげる。 ①散歩道整備(418)、駅周辺への植栽(437)、コンテナハウスレンタル(86)、観光案内用QRコード取得(72) ②テレビモニター(100)、QRコード付き看板設置(253)、サイクルステーション看板設置(162)	1,531	1,103	1,103	
29	その他地域の元気を生み出す地域づくり	栄村農業体験及び農産物宣伝販売促進事業	無茶フェス栄村大会実行委員会	H23年の大震災で甚大な被害を受けた栄村は、復興に向けて様々な取組みを行っているが、人口減少や地域経済の不振など中々明るい兆しが見えない。そのため、村の観光大使である信州プロレスの協力を得て、田植えや稲刈りを一緒に行う農業体験イベントや集客力のある無茶フェスを開催し、会場に訪れる多くの方に栄村の農産物を広くPRし、農業の振興及び交流人口の拡大につなげる。 ①イベント開催料(1,400)、のぼり旗、PRカード作成等(854)、農業体験事業用物品(45)	2,305	1,843	1,843	農産物生産・販売強化
30	地域協働の推進	農地等国土保全事業	栄村	農業従事者の高齢化が進む中、農業用施設の維持管理作業の軽減を図るため、集落等の要望により改修が必要な農道及び用排水路等について、村が原材料等を支給する。 ②原材料支給:農道舗装等1箇所、水路等改修6箇所(2,906)	2,460	1,393	1,393	
北信地域振興局 計				30事業	134,545	66,881	59,774	